

## 第三者評価結果報告書

### ①第三者評価機関名

株式会社 学研データサービス

### ②施設・事業所情報

名称：	みのわのぞみ保育園	種別：	認可保育園
代表者氏名：	園長 甲高 恵美子	定員（利用人数）：	77（82）名
所在地：	223-0051 神奈川県横浜市港北区箕輪町3-7-2		
TEL：	045-562-1210	ホームページ：	<a href="https://shkb.org/minowanozomi/">https://shkb.org/minowanozomi/</a>
【施設・事業所の概要】			
開設年月日	2016年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：	社会福祉法人 春献美会		
職員数	常勤職員： 14名	非常勤職員：	6名
専門職員	保育士 14名	栄養士	1名
	看護師 0名	調理員	2名
	事務員 1名	保育補助	2名
施設・設備の概要	居室数 保育室5、職員更衣室、調理室（前室）、事務室	設備等	園庭、1歳児専用園庭、倉庫7、ベビーカー置場、洗濯場、職員駐輪場、トイレ4

### ③理念・基本方針

＜保育理念＞  
子どもたちの健やかな成長と幸せを願い、全ての子どもたちが、自分を「かけがえのない存在」と感じ、自信をもって生きていかれるよう保育していきます。

＜保育方針＞  
子どもが安定して健やかに育つように、全職員で見守り保護者が安心して子どもを保育園に託せるよう信頼関係を築く。  
地域で子育てをしている養育者にとって、安心できる育児支援の場となり子育てを楽しめるよう援助する。

＜保育目標＞  
「心豊かに育ちあうこども」 意欲をもって遊べる子ども 心も体も元気な子ども 自分も友だちも大切に作る子ども

④施設・事業所の特徴的な取組

みのわのぞみ保育園は、2016年4月に横浜市立箕輪保育園から民営移管され、今年で7年目を迎えました。最寄り駅周辺は学生が多く賑やかな雰囲気ですが、園はそこから少し離れた閑静な住宅街にあり、周囲は自然に恵まれた環境です。園のすぐ裏には田んぼがあり、子どもたちは季節の移ろいとともに変わりゆく景色を楽しみ、近隣の畑ではさつま芋の収穫も体験しています。園ではおたまじゃくしやカブトムシを育て、散歩先の公園を探索してダンゴムシやバッタを見つけるなど、豊かな自然に触れることで興味や関心を広げています。また、広々とした園庭では好きな遊びを自分で選び、伸び伸びと外遊びをすることで丈夫な体づくりにもつながっています。

園内の随所に絵本に親しめる環境があり、絵本が子どもたちの生活に溶け込んでいます。一人で何度も読み返したり、1冊の絵本を友達と顔を寄せ合って楽しんだり、物語を職員に読んでもらい想像の翼を広げたりしています。今年度からコロナ禍で休止していた「絵本図書館」を再開させて、家庭でも絵本の世界を楽しんでもらえるよう取り組んでいます。保育活動においては、日常的に異年齢による活動を取り入れています。子どもたちは日頃から一緒に散歩に出かけたり、保育室を行き来したり、全クラスが集まりリズム遊びを楽しんだりしています。子ども同士の関わりから年下の子どもを思いやる気持ちが生まれ、年上の子どもたちを手本に挑戦する力や学ぶ力を培っています。

職員は、園での子どもたちの生活の中で自分のやりたいことを実現できるように、さまざまな遊びが保障される環境を常に考えています。子ども一人ひとりを受け入れ、目を配り、見守ることで、子どもたちは安心感を得て心ゆくまで遊んでいます。こうした体験の積み重ねが自己肯定感を育み、保育理念にある「自分をかけがえのない存在と感じ、自信をもって生きる」ことにつながっています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2023年6月14日（契約日）～ 2024年2月9日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1 回（ 2018 年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

◆地域ボランティアとの交流が子どもたちの体験を豊かなものにしていきます

多くの地域ボランティアが園を訪れています。子どもたちと一緒に遊ぶだけでなく、遊びが広がるようにと七夕飾りの笹や手作りの竹とんぼなども届けられ、こうした心のこもった数々の贈り物を子どもたちも職員も大切にしています。またコロナ禍以前は、クリスマスにはサンタクロースに扮したボランティアが登場し子どもたちに感動を与えるなど、地域ボランティアの存在が子どもたちの体験をより豊かなものにしていきます。一方で施設長は精力的に地域の会議に出席して子育て環境を考える話し合いに参画するなど、地域と良好な関係を築いています。この地に根差した園として地域から認知され、子どもたちは温かいまなざしに見守られながら伸び伸びと過ごしています。

◆育児講座やおもちゃの貸し出しなど子育て支援活動を積極的に行っています

保育方針の一つに「安心できる育児支援の場となり子育てを楽しめるよう援助する」と定め、地域の子育て支援活動に取り組んでいます。育児相談や園庭開放をはじめ、育児講座「絵本を楽しみましょう」、交流保育「しゃぼんだまであそぼう」「和太鼓ワークショップ」を開催するなど活動は多岐にわたります。この参加者の要望から今年度新たに「おもちゃ図書館」としておもちゃの貸し出しを開始し好評を得ています。そのほか在園する子ども家庭にもコロナ禍で休止していた「絵本図書館」を再開させました。園の有する専門性や資源を余すことなく地域に還元することが親子の笑顔につながっており、子育て支援の拠点としての役割を果たしています。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

園の保育目標に基づき、こどもたちの考える力、思いやりの心、自分を大切にすることを育む保育を行っています。第三者評価を受審し、保育に対する良い評価をいただきましたことは、園と職員にとって大きな自信となり、心から嬉しく思います。

また総評にある地域とのつながり、子育て支援への取組は、保育園が地域に根差した存在として大切にしていけるべき事業のため、今後も真摯に取り組んでいきます。

保護者の皆様からは、保育・運営に関する温かいメッセージをいただき、職員の励みとなりました。いただきましたご意見は、今後の明確な指標として取り入れてまいります。

ご協力くださいました皆様、心よりありがとうございました。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり